



ちゅうおう

発行：校長 松良 秀治

セカンドステップ取り組んでいます



今年度も中央小学校は、セカンドステップに取り組んでいます。学期に1回なので今回が今年度3回目になりました。講師先生として軒野先生に来てもらっています。バックアップティーチャーとして、時には前に立って子どもたちに教えていただいています。

「セカンドステップ」プログラムは、米国ワシントン州にある NPO 法人（1979年設立）によって、「子どもが加害者にならないためのプログラム」として開発されました。「キレない子どもを育てよう」を合言葉に、子どもが幼児期に集団の中での社会的スキルを身につけ、さまざまな場面で自分の感情を言葉で表現し、対人関係や問題を解決する能力と怒りや衝動をコントロールできるようレッスンが計画されています。

セカンドステップの授業は、①自分と相手の気持ちについて、②問題をどのように解決したらよいか、③怒りを感じたときにどうすればよいか、を学んでいきます。今年度は、1年生、2年生、3年生、支援学級と取り組みの幅を広げました。子どもたちの成長過程の中で、他者とのコミュニケーションを上手にできる力を育てたり、怒った感情をそのまま相手にぶつけてケンカになる前に一呼吸おく力を身につけてほしいからです。



この数年間で実際にその効果を実感したことが何回もあります。ガラスを割ってしまったとき、イライラしたときにどうしたらよかったか振り返ることができた子どももいました。感情を抑えられず、人に当たってしまいそうなときに、その場から離れて、ひとりで落ち着く子どももいました。実感として、セカンドステップは子どものためになると思っています。実際今年度その場から離れて落ち着くスキルを身に着けた子どももいます。

セカンドステップに限らず、道徳や特別活動、様々な教育活動を通じて、子どもたちには、相手を受け入れ、自分の思いを伝えられるよう成長して欲しいと思います。

2022年度学校教育自己診断

先日アンケートをお願いしていました学校教育自己診断の集計結果が出ましたので報告します。保護者の方におかれましては、忙しい中ご協力いただきありがとうございます。裏面を見てください。

アンケートは1月後半に実施しました。子どもたち1年生から6年生でのアンケートでは、学校に来るのが楽しい、授業はわかりやすいとほとんどの子どもたちが回答していること（約9割）は嬉しく感じます。一方どうも先生に相談しづらいと感じている子が2割強いることを真摯に受け止め、子どもたちが話しやすい雰囲気の醸成は急務だと感じています。また早寝早起きができているの質問には、7割の子どもたちからしか、肯定的な回答が得られなかったことは、やはり課題だと感じています。

でもどの項目でも全員があてはまるとは回答していないので、これまで以上に子どもたちの様子を観察し、声をかけ、個別の対応をする必要があることを改めて実感しています。子どもたちはどこかにストレスを感じ過ぎていることが多いのかもしれませんが、ご家庭での変化や気になる事は、学校に相談してください。よろしくお願いいたします。

3月の下校時間変更について

地域のみなさま、子どもたちの安全見守りをしていただきありがとうございます。3月で普段と違う下校時間等についてお知らせします。

3/16:卒業式準備 1～4年、6年 13:30分下校

3/17:卒業式6年式後下校（在校生休み）

3/24:修了式 10:30 下校